



経済安全保障協力に関する日独首脳共同宣言(概要)

令和8年(2026年)10月
外務省

➤両首脳は、**プレミアムパートナー**として**不可欠な相互補完性を有しており**、また、**唯一無二の位置づけにある**両国間での、経済安全保障協力の促進で一致。

1 経済安全保障をめぐるグローバルな現状

- 重要鉱物に関する**恣意的な輸出規制等の経済的威圧に深刻な懸念を表明**し、経済的依存関係を武器化しようとする試みが失敗することを確保するために緊密に協力。過剰生産等を引き起こす非市場的政策・慣行を拒否。

2 二国間協力

- 日独経済安全保障対話等含め、**協力深化、具体的協力プロジェクトの形成にコミット**。投資環境改善にコミットし、投資審査における協力を拡大。官民連携による共同イニシアティブを推進。**シンクタンク等間の協力促進**。

3 サプライチェーン強靱化

- **重要原材料、半導体、電池、EV、産業AI、ロボット、風力発電、医薬品等のサプライチェーン協力**を強化。「RISE」といった多国間枠組みも通じた重要鉱物の供給源の多様化推進や希土類代替可能性の拡張。
- **重要鉱物**の採掘・製練等における依存度低減、同志国間でリサイクル・備蓄の促進に向けた連携を強化。
- **パワー・アジア**等のイニシアティブを通じた石油備蓄や緊急対応措置における協力等の重要性を確認。

4 重要技術の保護

- 二国間やG7等の同志国間の取組を通じて**技術管理に関する協力強化にコミット**。技術流出を防ぎつつ、重要・新興技術のエコシステム育成を推進するため協力・関与を強化。

5 イノベーションの促進及び技術の強靱性

- 重要・新興技術への二国間**投資、産業連携、研究セキュリティ・研究インテグリティの確保**を推進。
- 「安全、安心で信頼できるAI」エコシステムの育成、企業間連携やAI for Science共同研究開発の推進、やサプライチェーンの構築等のため、**日独ハイレベルAI対話**を立ち上げ。**日本でのAIサミット早期開催**を目指す意向を歓迎。重要インフラへの悪用防止含め、AIの安全性・セキュリティで協力。
- **6Gや量子技術等の開発・普及・標準化**に向けた連携を強化。**半導体**分野の産業協力の重要性を確認。**海事産業**分野での協力可能性を追求。

6 ルールに基づく自由で、開かれ、公正な国際経済秩序の維持

- 日独サプライチェーンの連結性、開放性、及び強靱性を維持し、同志国のための公平な競争条件を確保するため、共同で取り組むことにコミット。「**Made with**」の**アプローチを原則支持**。この目的のため、戦略的分野に対する産業支援措置などにおいて、**信頼できるパートナーである日本及びEU双方の利益が、原則として相互に考慮されることを確保すべく**、日・EUそれぞれの政策に関し緊密に協力する意向を確認。繁栄の基盤としてのWTO改革での協力。